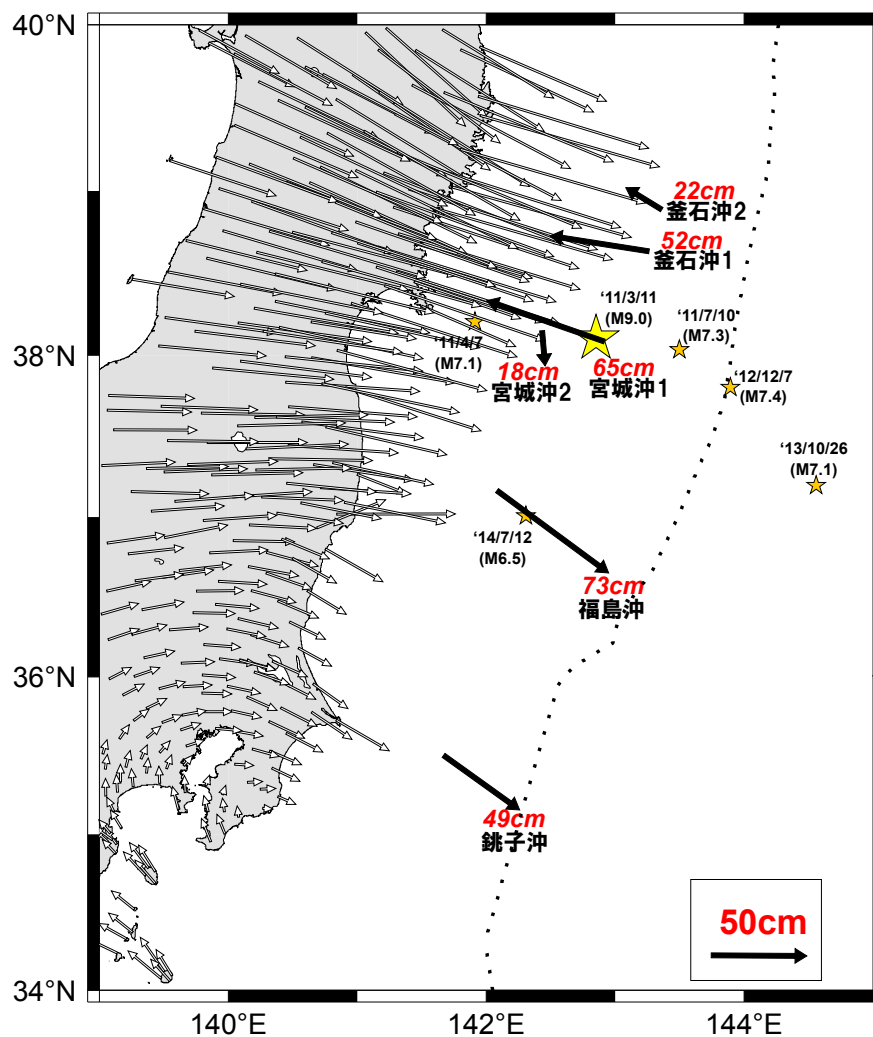


東北地方太平洋沖地震後の海底地殻変動観測結果

海上保安庁では、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震後の地殻変動を把握するため、日本海溝沿いに設置されている海底基準点において、順次、海底地殻変動観測を実施している。ここでは、東北地方太平洋沖地震後の累積変位量を、国土地理院のGNSS観測結果(F3解)とともに示す。海底基準点において、1 cm 以上の変動が推定される余震も示す。

東北地方太平洋沖地震後の水平変位【電子基準点「福江」固定】



観測点	KAMN	KAMS	MYGI	MYGW	FUKU	CHOS	電子基準点
基準エポック	2011/4/3	2011/4/5	2011/3/28	2011/3/27	2011/3/29	2011/4/18	2011/3/29-4/4
比較エポック	2015/10/16	2015/10/15	2015/10/18	2015/10/19	2015/10/14	2015/10/26	2015/10/8-10/14
水平変位量	22cm	52cm	65cm	18cm	73cm	49cm	

- 解析には国土地理院提供の電子基準点1秒データ及びF3解を使用している。
- 余震は、気象庁一元化震源を使用している。余震による変動の推定は、Okada[1992]の手法を用いた。